

生活基盤施設耐震化等交付金 中間評価書

1. 交付対象事業の進捗状況

水道施設等耐震化事業 計画期間：H27～H31												
事業主体 (水道事業者)	事業箇所 (市町村)	事業内容	事業期間					総事業費 (千円)	交付対象事業費 (千円)	交付額 (千円)	進捗状況	備考
			H27	H28	H29	H30	H31					
3 京都市水道	京都市	計画	＜京都市緊急時用連絡管＞ 蹴上浄水場系と新山科浄水場系の幹線配水管を結ぶ連絡幹線配水管の整備。					1,377,436	1,328,188	332,047	継続	
		実績	上記事業について、計画区間の連絡幹線配水管を整備した。					1,384,734	891,704	222,926		
6 京都市水道	京都市	計画	＜京都市水道管路緊急改善事業＞ 老朽化した基幹管路の更新及び耐震化を図る。					1,262,161	899,795	299,930	継続	H30年度から新山科浄水場導水トンネル築造工事を補助対象事業に加えたため、事業費が当初計画から大きく増加
		実績	上記事業について、計画区間の基幹管路の更新及び耐震化を実施した。					4,170,101	2,266,875	755,625		
7 京都市水道	京都市	計画	＜京都市緊急遮断弁（松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池）＞ 松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池における緊急遮断弁の設置。					25,677	25,677	6,419	完了	
		実績	上記事業について、緊急遮断弁を設置した。					32,670	25,677	6,419		
8 京都市水道	京都市	計画	＜京都市基幹水道構造物の耐震化事業（補強）＞ 蹴上浄水場第1最高区配水池及び新山科浄水場高区2号配水池の耐震化を図る。					135,486	112,536	28,134	継続	
		実績	上記事業について、計画どおり配水池の耐震化工事を実施した。					115,294	112,536	28,134		
9 福知山市水道	福知山市	計画	＜福知山市水道管路緊急改善事業（送水管）＞ 基幹管路である堀山配水系統における送水管が老朽化しており、送水管を耐震管に更新することにより、安心安全で安定した水の供給を図る。					501,002	353,360	117,786	完了	H30年度の委託工事において、別箇所での自然災害に伴う対応のため工程に遅れが生じたため、1年延長
		実績	上記事業について、計画区間の送水管の更新を実施した。					451,583	256,329	85,443		
15 舞鶴市水道	舞鶴市	計画	＜舞鶴市水道管路緊急改善事業＞ 経年劣化した基幹管路（配水本管）（3.8km）を更新及び耐震化を図る。					694,764	694,764	231,588	継続	
		実績	上記事業について、基幹管路（配水本管）の更新及び耐震化を実施した。					676,557	610,452	203,484		
16 綾部市水道	綾部市	計画	＜東八田簡易水道統合整備事業＞ 簡易水道事業を統合し、水道水の安定供給を図ると共に、経年劣化の進む配水管を更新し、管路の耐震化率の向上を図る。					154,248	143,038	47,679	完了	
		実績	上記事業について、計画どおり送・配水管の整備・更新を実施					142,536	133,096	44,365		
17 綾部市水道	綾部市	計画	＜山家西簡易水道事業＞ 簡易水道事業を上水道へ統合し、水道水の安定供給を図ると共に、経年劣化の進む配水管を更新し、管路の耐震化率の向上を図る。					993,091	916,188	366,475	完了	事業用地の確保、地元協議、道路占用等の関係機関協議に不測の時間を要し、3年延長
		実績	上記事業について、計画どおり送・配水管の整備・更新を実施					990,952	932,715	373,084		
23 向日市水道	向日市	計画	＜向日市老朽管更新事業＞ 向日市内の基幹管路の耐震化や老朽化対策（導水管410m、配水本管2,350mの布設管）を実施し、市民生活の基盤強化を図る。					617,000	617,000	154,250	完了	
		実績	上記事業について、基幹管路の耐震化や老朽化対策を実施した。					542,910	429,148	107,287		
27 南丹市水道	南丹市	計画	＜南丹市重要給水施設配水管＞ 重要給水施設への老朽管（1,000m）を更新し、耐震化を図る。					166,375	100,000	25,000	継続	
		実績	上記事業について、901.2mの老朽管の更新を実施した。					183,615	83,200	20,800		
30 久御山町水道	久御山町	計画	＜久御山町重要給水施設配水管＞ 重要給水施設に接続する管路の耐震化を図り、災害・緊急時における安心・安全な給水を確保。					118,175	109,265	27,313	継続	
		実績	上記事業について、計画区間の配水管の耐震化を実施した。					134,755	88,596	22,148		
34 京丹波町水道	京丹波町	計画	＜京丹波町重要給水施設配水管＞ 重要給水施設へ供給している管路を耐震化し、非常時における上水の確保を図る。（重要給水施設配水管5.5kmを更新）					283,176	240,004	60,000	継続	
		実績	上記事業について、計画区間の配水管の管路更新を実施した。					222,339	142,004	35,500		

2. 事業効果の発現状況、評価指標の発現状況

I 事業効果の発現状況	【京都市】計画に沿って連絡幹線配水管1.17kmを整備し、連絡幹線配水管整備率23.4%の目標を達成。				
	【京都市】計画に沿って基幹管路の更新及び耐震化を実施し、主要管路の耐震適合性管の割合は54.5%となった。				
	【京都市】計画に沿って緊急遮断弁を設置し、地震等の災害に対して、応急給水可能な体制を確保できるようになった。				
	【京都市】計画に沿って配水池の耐震化工事を実施し、蹴上浄水場第1最高区配水池、新山科浄水場高区2号配水池は令和2年度に耐震化完了の予定。				
	【福知山市】計画に沿って、基幹管路である堀山配水系統における送水管1,025mの布設替えを実施し、耐震適合率が67.0%となった。				
	【舞鶴市】計画に沿って基幹管路である配水本管3.8kmの布設替えを実施し、R1年度末時点で耐震適合率50.5%の目標を達成。				
	【綾部市】計画に沿って簡易水道の統合のための整備を行い、経年化した管路の更新を実施し耐震適合率60.0%の目標を達成し、水道水の安定供給を図れた。				
	【向日市】計画に沿って、基幹管路1,570mの布設替えを実施し、耐震適合率は27%へ向上させることができた。今後は令和9年度末に基幹管路の耐震適合率を50%とする新たな目標に向けて耐震化へ取り組んでいる。				
	【南丹市】配水管901.2mの布設替えを実施し、管路の経年化率は2.35%、管路の耐震化率は1.56%に向上し、重要給水施設への管路の耐震化が推進できた。				
	【久御山町】計画に沿って、重要給水施設に接続する管路の耐震化を実施し、耐震適合率25%の目標を達成。				
【京丹波町】計画に沿って、配水管約2.9kmの布設替えを実施し、重要給水施設までの配水管の耐震適合率は12.4%に向上した。					
II 評価指標の達成状況	指標	目標及び実績			達成評価(又は目標値と実績値に差が生じた原因)
	京都市-3 京都市水道事業における連絡幹線配水管整備率	当初現況値	0%	(H28年度)	予定の値を達成。
		目標値	23.4%	(H31年度)	
		実績値	23.4%	(H31年度)	
	京都市-4 京都市水道事業における主要管路の耐震適合性管の割合	当初現況値	45.5%	(H27年度)	予定の値を達成。
		目標値	49.5%	(H29年度)	
		実績値	54.5%	(H31年度)	
	京都市-5 京都市水道事業における導水施設の耐震化率	当初現況値	26.8%	(H30年度)	-
		目標値	26.8%	(H31年度)	
		実績値	26.8%	(H31年度)	
	京都市-8 京都市水道事業における浄水施設の耐震化率	当初現況値	51.0%	(H30年度)	-
		目標値	51.0%	(H31年度)	
		実績値	51.0%	(H31年度)	
	京都市-9 京都市水道事業における配水池の耐震化率	当初現況値	28.1%	(H30年度)	予定の値を達成。
		目標値	31.3%	(H31年度)	
		実績値	31.3%	(H31年度)	
	福知山市-1 福知山市水道事業における堀山配水池系統の耐震適合率	当初現況値	0%	(H28年度)	補助対象外の工事区間において、耐震管への更新ができなかったため、耐震適合管路延長の実績が当初計画より減となった。
		目標値	81%	(H29年度)	
		実績値	67%	(H30年度)	
	舞鶴市-3 舞鶴市水道事業における基幹管路の耐震適合率	当初現況値	47.0%	(H29年度)	予定の値を達成。
		目標値	51%	(H31年度)	
		実績値	52%	(H31年度)	
	綾部市-1 綾部市簡易水道事業における管路の耐震化率	当初現況値	51%	(H27年度)	予定の値を達成。
		目標値	60%	(H31年度)	
		実績値	60%	(H31年度)	
	向日市-3 向日市水道事業における基幹管路の耐震適合率	当初現況値	18%	(H27年度)	事業着手後、漏水等により、市民生活に大きく影響を及ぼす箇所を優先して工事を進めていたところ、住宅地内等において想定以上に事業費や時間を要したため、当初予定していた布設替の延長には至らなかったが、現在は平成29年度に策定した向日市水道事業経営戦略に基づき、令和9年度末に50%となるよう、新たな目標に向けて取り組んでおり、順調に推移している。
		目標値	35%	(H31年度)	
実績値		27%	(H31年度)		
南丹市-3 南丹市水道事業における管路の経年化率	当初現況値	2.78%	(H30年度)	現場の状況を踏まえて、施工計画(令和元年度～令和5年度)の変更を行った。	
	目標値	2.33%	(H31年度)		
	実績値	2.35%	(H31年度)		
南丹市-4 南丹市水道事業における管路の耐震化率	当初現況値	1.14%	(H30年度)	現場の状況を踏まえて、施工計画(令和元年度～令和5年度)の変更を行った。	
	目標値	1.58%	(H31年度)		
	実績値	1.56%	(H31年度)		
久御山町-1 久御山町水道事業における重要給水施設の接続率	当初現況値	0%	(H28年度)	予定の値を達成。	
	目標値	25%	(H31年度)		
	実績値	25%	(H31年度)		
京丹波町-2 京丹波町水道事業における配水管の耐震適合率	当初現況値	11.0%	(H29年度)	災害復旧工事や道路改良工事に伴う布設替・移設工事を優先せざるを得なかったため、重要給水施設配水管の更新工事の進捗率が低くなった。耐震適合管延長が大幅に増加したのは、既設管の一部で耐震適合性が確認されたため。	
	目標値	12.4%	(H31年度)		
	実績値	22.5%	(H31年度)		
京丹波町-3 京丹波町水道事業における重要給水施設配水管の耐震化率	当初現況値	6.1%	(H29年度)	災害復旧工事や道路改良工事に伴う布設替・移設工事を優先せざるを得なかったため、重要給水施設配水管の更新工事の進捗率が低くなった。	
	目標値	18.0%	(H31年度)		
	実績値	12.4%	(H31年度)		
III 評価指標以外の事業効果の発現状況(必要に応じて記載)	【綾部市】事業実施区域では、水源の枯渇や水質悪化・施設老朽化等の課題があったが、必要な水道施設を整備したことにより、安心で安全な水道水の安定供給を確保できるようになった。また、山家西地区では、上水道と統合したことにより、施設の維持管理費の削減・上水道の利用者の向上につながった。				
	【南丹市】本事業に合わせて単独事業でも耐震管によるバイパス管路1,250mを整備し、地震対策の強化を図った。				

3. 今後の方針等

【京都市】引き続き連絡幹線配水管の整備を推進し、令和4年度には連絡幹線配水管整備率100%を目指す。
【京都市】引き続き基幹管路の更新及び耐震化を推進し、令和9年度には主要管路の耐震適合性管の割合66%、導水施設の耐震化率62%を目指す。
【京都市】引き続き配水池の耐震化を図り、令和9年度には配水池の耐震化率73%を目指す。
【京都市】引き続き浄水施設及び配水池の耐震化を図り、令和9年度には浄水施設の耐震化率100%、配水池の耐震化率73%を目指す。
【福知山市】老朽化した基幹管路である配水本管及び送水管の耐震管への更新を進めることにより、地震等の災害に強く、安心安全で安定した水の供給を図る。
【舞鶴市】引き続き、基幹管路(配水本管)の耐震化を進め、R4年度末には基幹管路耐震適合率を54.2%とし、災害時にも被害を最小限とする強靱な水道施設の整備を図る。
【綾部市】引き続き配水管の耐震化を進め、災害時における給水体制の水準を高める。
【向日市】本市では、令和9年度末に基幹管路耐震適合率50%を目標として掲げている。令和2年度以降は、目標達成に向けて、単独事業として実施していく予定である。
【南丹市】引き続き重要給水施設までの配水管の耐震化を進め、令和5年度を目途に管路の経年化率を1.32%、管路の耐震化率を2.59%とし、大規模地震等の自然災害に備えるとともに平時における事故の発生を抑制し、安定した水の供給を計る。
【久御山町】引き続き重要給水施設配水管の耐震化を進め、令和9年度末に全ての重要給水施設配水管の耐震化を図る。
【京丹波町】京丹波町水道事業ビジョン2020(令和2年度策定)に基づき、引き続き重要給水施設までの配水本管の耐震化を進め、令和6年度を目途に配水管の耐震適合率を26%、重要給水施設配水管の耐震適合率31.4%とし、非常時における水の確保を図る。